

麦類赤かび病の防除時期について

小麦や六条大麦の赤かび病の効果的な防除時期は、「開花始め」と「その 10 日後」です。

農業技術センターにおけるコムギの出穂期は、平年に比べやや遅くなっており（表 1）、赤かび病の防除時期も平年に比べやや遅いと予想されます。すでに赤かび病の「子のう殻形成好適日」及び「子のう胞子飛散好適日」の出現が複数日で認められており（表 2）、胞子の形成及び飛散量が増加している可能性があります。また、4 月中旬までに赤かび病増殖の好適日が少なくても、その後に好適日が頻出する場合があります（R4 年度）。過去 3 年間の赤かび病の発生量は平年に比べ多かったことから、ほ場における本病原菌の密度も高いと予想されます。

気象庁の 1 か月予報（4 月 10 日発表）によると、今後の気温は高く、降水量は平年並と予想されており、赤かび病感染に好適な条件となる恐れがあります。ほ場の生育状況を確認し、**2 回防除を徹底**してください。

表 1 小麦生育状況

品種	出穂期 *	平年値 **	播種日
イワイノダイチ	4/ 9	4/ 5	11/ 7
さとのそら	4/12	4/ 9	
タマイズミ	4/14	4/ 9	

* : 農業技術センターほ場（作物部調べ）

** : 令和 7 年度主要農作物奨励品種特性表の値

表 2 子のう殻形成好適日及び子のう胞子飛散好適条件発生状況

	子のう殻形成好適日 ¹⁾				子のう胞子飛散好適日 ²⁾			
	R7	R4	H14	H10	R7	R4	H14	H10
3 月 26 日		●			△	◎		
3 月 27 日		●				▲	▲	▲
3 月 28 日	●			●	◎		▲	◎
3 月 29 日			●		▲		▲	
3 月 30 日			●			△	▲	
3 月 31 日			●			△	▲	
4 月 1 日					▲			▲
4 月 2 日	●				▲			▲
4 月 3 日						▲	△	▲
4 月 4 日		●				▲	△	
4 月 5 日								
4 月 6 日			●	●	◎	△	▲	◎
4 月 7 日	●		●	●	▲		◎	◎
4 月 8 日			●	●		△	◎	▲
4 月 9 日				●			△	▲
4 月 10 日	●			●	◎	△		◎
4 月 11 日	●				◎	△	◎	
4 月 12 日						△	▲	△
4 月 13 日	●			●	▲	△	▲	◎

- 1) 子のう殻形成好適日
●: 降雨直後（当日及び翌日）かつ平均気温が13℃以上であった日
- 2) 子のう胞子飛散好適日
◎: 濡れ条件と温度条件を両方満たした日
▲: 濡れ条件のみを満たした日
△: 温度条件のみを満たした日
※ 濡れ条件: 降雨直後（当日または翌日）または湿度が80%以上
温度条件: 最高気温が15℃以上かつ最低気温が10℃以上
※ 平成10年は警報、平成14年および令和4年は注意報を発表した年度です。

* 岐阜市のアメダス地点データを基に作成（気象庁調べ）

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病害虫防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>